

みずほCustomer Desk Report 2018/01/04号 (As of 2018/01/03)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	112.25	1.2062	135.42	1.3595	0.7831
SYD-NY High	112.61	1.2066	135.50	1.3614	0.7845
SYD-NY Low	112.18	1.2001	134.82	1.3495	0.7805
NY 5:00 PM	112.51	1.2015	135.15	1.3515	0.7834
NY DOW	24,922.68	98.67	日本2年債	-	-
NASDAQ	7,065.53	58.63	日本10年債	-	-
S&P	2,713.06	17.25	米国2年債	1.9293	0.82bp
日経平均	-	-	米国5年債	2.2423	▲0.50bp
TOPIX	-	-	米国10年債	2.4443	▲1.63bp
ソコ日経先物	23,190	335.00	独10年債	0.4365	▲2.60bp
ロンドンFT	7,671.11	23.01	英10年債	1.2135	▲7.05bp
DAX	12,978.21	106.82	豪10年債	2.6825	3.30bp
ハンセン指数	30,560.95	45.64	USDJPY 1M Vol	6.30	▲0.30%
上海総合	3,369.11	20.78	USDJPY 3M Vol	7.25	▲0.19%
NY金	1,314.70	▲1.40	USDJPY 6M Vol	7.78	▲0.15%
WTI	61.93	1.56	USDJPY 1M 25RR	-0.40	Yen Call Over
CRB指数	195.35	0.64	EURJPY 3M Vol	8.06	▲0.19%
ドルインデックス	92.17	0.30	EURJPY 6M Vol	8.23	▲0.18%

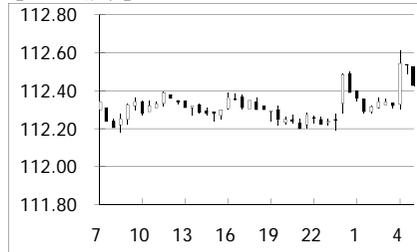
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月3日	21:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	0.7%
1月4日	0:00	米 建設支出(前月比)	11月	0.8%
	0:00	米 ISM製造業景況指数	12月	59.7
	4:00	米 FOMC議事要旨(12/12-13開催分)	-	-

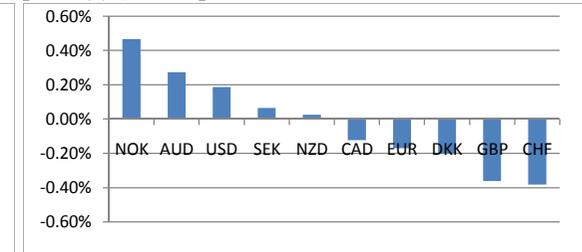
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月4日	10:45	中 Caixin PMI(サービス業/コンポジット)	12月 51.8/-	51.9/51.6
	17:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	12月 55.8/58.7	55.8/58.7
	18:00	独 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	12月 56.5/58.0	56.5/58.0
	18:30	英 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	12月 54.0/55.0	53.8/54.9
	22:15	米 ADP雇用統計	12月 190k	190k
	22:30	米 新規失業保険申請件数	-	241k
	23:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	12月 52.5/-	52.4/53.0
1月5日	3:30	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00 - 113.00	1.1950 - 1.2050	134.50 - 136.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は底堅く推移した。本邦不在の動意薄い展開を引き継ぎ、欧州時間は112.30円台で横這い。北米時間に入り、米12月ISM製造業景況指数が市場予想比を上回ると112.50円まで上昇するも、すぐに戻り売られ再び112.30円付近に押し戻された。FOMC議事録は特段目新しい内容はなかったが、「減税によるインフレ進行が利上げ加速の論拠」との文言に米金利上昇、ドル円は、高値112.61円まで反発した。本日のドル/円は引き続きレンジ内での小幅推移を予想する。本邦では年始休暇の実需勢が多く、スベック勢も次なる材料探して動きづらいつける。112円台半ばでの方向感に乏しい値動きとなりそうだ。

アジア	アジア時間のドル円は112.25レベルで取引を開始。東京市場が本日まで休場となり、引き続き市場参加者が少ない状況に加え、NY時間には米12月ISM製造業景況指数、12月FOMC議事録の発表が控えていることから、様子見ムードが漂う中で動きに欠ける展開が続いた。結局、アジア時間の値幅はわずか17銭となり、112.28レベルにてアジア時間の取引を終えた。(香港14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、112.28レベルでオープン。MiFID2(第2次金融商品市場指令)等が施行され、見極めたいことから積極的なボラジション形成は手控えられる展開。薄商いの中、小動きしオープンレベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.2055レベルでオープン。独雇用統計では、失業率は1990年の東西ドイツ統一後で最も低い水準(5.5%)を更新し、12月失業者数は予想(1万2000人減少)以上に減少(2万9000人)する等、労働市場の堅調さが鮮明になったが、独金利が低下する中、1.2011に低下。1.2024レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3610レベルでオープン。英国がEU離脱後に環太平洋連携協定(TPP)に参加することに関心を示しているとの報道から、1.3614まで買われるも、12月の英連設業PMIが52.2に低下し、予想(52.5)を下回ったことから、利食いに転じ、1.3557まで下落。1.3564レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外時間のドル円は日本の祝日であることに加え新規材料に欠中、112円台前半での狭いレンジでの推移が続き、112.26レベルでNYオープン。朝方発表された米12月ISM製造業景況指数が予想を上回ったことからドル買いが強まり112.50まで上昇。しかし112円台半ばではドル売り意欲も強く112.28まで反落、その後は堅調な米株、WTI原油を横目に112.30円付近での推移が続いた。NY時間の午後2時に公表されたFOMC議事録(12月13日会合分)は「大半の当局者が穏やかなペースでの利上げ継続を支持」「税制改革は消費を加速させる可能性がある」との見解を示し、2018年の利上げに向けてタカ派寄りの内容であったことからドル円は高値112.61まで上昇。しかし「低インフレ見通しを懸念」との意見もあり、米金利が冴えない中、積極的に上値を追っていく展開とはならず、その後は112.40円付近での推移が続き112.51レベルでクローズした。一方ユーロドルは、1.2024レベルでNYオープン。強い米12月ISM製造業景況指数を受けてドル買いが強まり1.2004まで下落。しかし1.2000を割り込むことは無く、1.2032まで反発。午後はFOMC議事録発表後のドル買いから再び安値1.2001まで下落するが、1.201度付近では買い意欲もあり、1.2015レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山本・田家